

審議概要報告 「2020年6月22～27日NCA理事会メール審議」

決定事項

- ◆7月土曜協会練習は再開しない
- ◆8月以降に諸情勢と各委員会意見を踏まえた理事会審議にて再検討する

各理事（委員会）意見集約

項目	競技委員会	総務委員会	指導普及委員会	強化委員会
7月再開	役員会に一任	時期尚早	7月中は活動中止の継続を希望	検討期間短く時期尚早
再開目的	役員会に一任	対面理事会での検討必要	理事会にて協議の上、8月以降活動再開の検討	理事会で詳細決定後
再開条件	役員会に一任	対面理事会での検討必要	JCA フェーズ5移行	理事会で詳細決定
その他開催通知内容・協会費・年次総会など	理事会にて検討 ※ZOOM,TEAMS等オンライン理事会活用提案	<ul style="list-style-type: none"> ・協会費の還元については年会費減額が全員へ行き渡る唯一の方法と思う。 ・1シートの参加者数が少ない場合については、練習会費の値上げを含めた検討も選択肢に含むべきだと思う。 ・チームやサークルが形成できるような支援が必要。 ・協会費の協会練習への投入については、協会練習参加が任意である以上練習会費の参加者の負担と協会費からの補填のバランスを見直すのではないかと。 ・競技をするために協会登録をして、個別に練習をしている方は、協会練習参加費の協会補填のような還元がほとんど（というか全く）ない。 ・コロナ禍の影響で収入への影響のある方も多いと思う。休止期間で費用も減っていない分、協会費の減額や次年度の会費見直しも必要ではないか。 ・年次総会の実施について <ol style="list-style-type: none"> ①広い会議室で距離を保って実施。 ②メールでの総会（提案から採決まで何回かメールでの確認必要） ステップ1. 意見の呼びかけと集約 ステップ2. 集約意見の公開 ステップ3. それに対する意見の集約 その結果の公開 ステップ4. 賛否の確認（賛否それぞれ理由も記載してもらう） 議題によっては一回で意見がまとまらずに、何回か意見集約と賛否確認を行う必要がある。	2019～2020 協会費の取り扱いについてや総会開催に関しては理事会にて検討	理事会で詳細決定
各委員会意見集約など	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な理由によりカーリングに参加できない方々がいる状況 ・再開に際し、陽性反応またはその疑いのある者が出た場合の協会としてのリスク、そしてその責任の所在は不明瞭では ・再開後は、十分な感染予防対策とその徹底が必要な状況 ・競技委員会として“協会練習下におけるリーグ戦の見合わせ”、“新潟OPなどの大会見合わせ”の検討が今後必要 	(1) 7月再開の是非 <ul style="list-style-type: none"> ・早急な再開には時期尚早と考える。 ・個人の利用がどの程度進んでいるか、状況の把握も必要である。活動再開については協会員みんなの考えや意見をアンケート等で集約し、会員の気持ちに添うような方向で検討した方が良い。7月は意見収集、検討に費やすべきと考える。場合によっては7月中でまとまらない可能性もある。最速で検討しても8月が精一杯ではないだろうか。 ・7月開始というのは早いと思います。早くても9月以降だと思います。これから話し合おうというのに、次週からもう練習再開というのは無理じゃないでしょうか。 (2) 再開目的 <ul style="list-style-type: none"> ・従来通りを期待するならばコロナ収束宣言後になると考える。施設の利用制限解除後、収束宣言後。この場合はインフルエンザと同程度に危険度のレベルが下がることが条件だが現時点では可能性は期待できない。 ・従来とは全く違う状況を受け入れるのであれば、対面理事会で段階的な再開を考える。 ・今までのような協会練習とは全く違った姿になると思う。どのような協会練習になるかは検討が必要。 ・従来通りの練習は不可能だと思いますので、対面理事会で内容を検討していただきたいです。 (3) 再開条件 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用制限解除後希望 ・役員会検討案には最小開催人数が4人となっている。開催再開と最小開催人数については同時に論ずべきではない。以前の練習見直しの提案については反対意見もあり、それについては別途継続審議となったはずである。1シートの許容人数が5名の制限を受けていた時の状況下での提案かもしれないが、現在1シート10名とほぼ人数制限については解除されているので、最小開催人数は5人とすべきである。 ・再開の提案で1枠目の時間帯に限るとした理由は何かでしょうか。 ・ストーンの共有を避けるのであれば、1シート8名、2シートで16名が上限とした方が説明がつくのではないかと。最小開催人数は5名で、9名から2シート予約、上限は16名が妥当ではないだろうか。 ・施設の利用制限解除後や、終息宣言後なら、参加者名簿や体調チェックなどで十分だと思います。解除前に実施するならば、スリーパーはひとりだけ。また大声を出せない、会話が最小限となると、練習再開は難しい気がします。 ・「協会練習はしないが、個人利用は可」というルールはまだ先行きが不透明な情勢で、周囲の人たちのことを考えて我慢し自粛している人が多い中、特定の人たちだけが施設を利用するのはどうかと思います。またチームに属していない人は練習したくてもできません。なのに協会からはなんの支援もありません。両方禁止、または両方実施の方が平等だと感じます。 ・万一感染者が発生した場合の対策や手順等は考えて有るのでしょうか。誰がどのように何をするのか、事前に話し合っておく必要があると思います。そのためにも役員・委員・会員みんなで知恵や知見を持ち寄って考えていかねばならないのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動自粛が解除されてからまだ日にちが経っていないため、もう少し様子を見た方が良いのではないかと。 ・協会練習が再開されても、心配ですぐに参加しようか迷う。 ・少しずつ県協会として緩和していった方が良いのではないかと。 ・県をまたいだ移動制限が解除になったばかりであることや、それに伴い各協会個人の仕事、日常生活における感染リスクが今までより高まったことを鑑みて、活動再開についてはもう少し様子を見たいという意見が上がりました。 ・協会員への周知等も含め、余裕を持って活動再開を迎えられる8月以降が良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協会練習中止の際には速やかにアリーナ、協会員へ連絡すべき ・混雑が予想される土曜日等シート予約方法考える必要あり